

若者流出に反転攻勢ー

広島県が meet up イベント「それ、広島で。」を開催

東京一極集中が続き、若者を中心に地方からの転出超過が依然として深刻な中、広島県は、就職や働き方、暮らし方を考えている若者に向け、様々なやりたいこと、働き方が、「広島でできるよ」というメッセージを伝えるキャンペーン「それ、広島で。」を展開しています。

キャンペーンの一環として、実際にUターンして広島で働く若者と、同じくUターン経験のある広島県の横田知事が「なぜ、広島を選んだか」を語る座談会が行われました。実際に広島で働き、暮らす先輩たちの率直な言葉を聞いた大学生からは、「(望む仕事が)広島でもできるということを知る、いいきっかけになった」「自分の選択肢を広げて考えたいと思った」といった声が寄せられました。

このたび、就職活動や転職を考える時期にあわせ、広島で暮らすことを選んだ5名のアンバサダーと大学・短大生や第二新卒層の方が、広島県で「働く」「暮らす」ことについて語り合う「meet up イベント「それ、広島で。」を令和8年2月27日に開催します。



実際に広島で生き生きと暮らしている5名の「それ、広島で。」アンバサダー

■広島を舞台に今を生きる先輩たち「それ、広島で。」アンバサダーと知事が対談



令和8年1月30日、広島市内の大学(叡啓大学)で、横田知事をはじめ、県外からUターンして働くアンバサダーと座談会を開催しました。

■広島を選んだ理由は家族



大学進学で東京へ渡り、再び地元に戻って一般企業の営業職に就職する道を選んだ上平さん。「東京で家族と離れて暮らしてみて、やっぱりもう一度家族と暮らしたい。」
「大切なのは、誰と生きるか。大好きな家族がそばにいて、応援してくれる安心感は何よりの支えになっています。」上平さんが広島を選んだ理由は家族でした。

■広島でもできる



東京・横浜で大手外資系製薬会社での営業経験を経て、下蒲刈島で観光農園とカフェを営んでいる横山さん。「東京にいらなくても、広島にいらながらも新規事業はできると思った。」「なぜ広島でブルーベリー農園を開いてみようと思ったのか」と質問した大学生に、「今でも悩んでいます。でも、悩んでいるということだけで生きていると実感しています。」と、熱心に回答する姿が印象的でした。

■広島でしかできない



新規事業開発・イノベーション創出支援を専門とする企業に就職し、広島拠点の立ち上げに手を挙げ支社長としてUターンした宇野木さん。宇野木さんの仕事は、まさに、広島でしかできないこと。「新しい事業が連鎖的に生まれていく仕組みづくりを、広島といっしょに、広島から実現したい。」広島の可能性を身をもって感じている、とても説得力のあるお話でした。

■広島も一つの選択肢に



自身も U ターンを経験している横田知事。アンバサダーのエピソードを、自分の経験と重ねて語っていました。「広島の中でいろんなチャレンジができるということをしっかりと私たちとしては伝えていきたい。そして、働く場所として、暮らす場所として広島を選んでいただきたい。」

■広島を舞台に今を生きる先輩たちから受け取ったもの



座談会の後半には、学生から「広島だからこそできることは何か」「若い世代が地域で挑戦するために大切なことは」といった問いに対し、アンバサダーと知事が自身の経験をもとに、率直に語りました。

参加した学生からは、「(望む仕事が)広島でもできるということを知る、いいきっかけになった」「自分の選択肢を広げて考えたいと思った」といった声が寄せられました。



[[開催報告]1月30日(金)「それ、広島で。」アンバサダーと横田広島県知事の座談会を行いました(叡啓大学 HP)]

<https://eikei.ac.jp/news/11553/>

■広島で考える、働くこと、暮らすことを実感するイベントを開催

令和8年2月27日には、アンバサダーたちと就職活動中の学生や転職を考えている第二新卒層の方との交流会「meet up イベント「それ、広島で。」」を開催します。

「理想とする暮らしや働き方は、どこで実現できるのだろうか。」

それぞれの想いや不安を、みんなで語り合ってみませんか。



“みんなの「それ、広島で。」を知り、
私の「それ、広島で。」を考える”

meet up
イベント **それ、広島で。**

広島県での就職や働き方、
暮らし方を考える人へ。

開催日:2026年2月27日(金) 午前・午後の2回開催
場所:イノベーション・ハブ・ひろしま Camps

大学生・
短大生・
専門学校生・
第二新卒の方
対象

詳しくはこちら ▶

<イベントの概要>

開催日程	2026年(令和8年)2月27日(金) 1部:11:00~14:00/2部:16:00~18:40
会場	イノベーション・ハブ・ひろしま Camps(広島市中区紙屋町)
登壇者	「それ、広島で。」アンバサダー5名
来場特典	Camps 会場参加者には、アマゾン e ギフト(デジタルタイプ)2,000円をプレゼント(条件あり) 広島県外の大学・短大・専門学校に在籍中の方には、交通費の半額相当(上限・条件あり)を支給
募集対象	大学生・短大生・専門学校生・第二新卒の方
定員	Camps 会場:各部50名(先着順) ライブ配信(Zoom):各部250名(先着順)
参加費	無料
受付期間	2026年(令和8年)2月23日(月)まで

詳細は、「それ、広島で。」特設サイト内にあるイベントページをご確認ください。

[イベント詳細・申込みページ]

URL:<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/sore-hiroshima-de/meetup.html>

[「それ、広島で」特設サイト]

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/sore-hiroshima-de/index.html>

■当日取材について

調整中のため、取材可否については2月24日を目途にお知らせします。